

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月31日

事業所名:はぴはうすボコ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		弊社の目標である「体をたくさん動かす」のに十分なスペースを確保している。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		10名の定員に対し、常に4人以上のスタッフで対応。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		障がいの特性に合わせて、環境等の改善は柔軟に行い、安全に活動できるよう配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		スタッフで役割分担し、室内や社用車の清掃を行っている。常時空気清浄機稼働、手指の消毒	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の記録を各自で読み込み、ミーティングの時間を確保して共通理解を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ペアレントトレーニングを(親子ふれあいデイ)毎週土曜日に計画・実施している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価表結果を総合して見直し・療育の質の向上に努めていく	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		様々な評価を受けて、事業の改善・充実に努めたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社命による研修の他、様々な研修を周知し、希望者には積極的に研修を受ける機会を設けている。	
適切な士	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的に作業療法士の先生に来て頂き、日頃の療育での助言を受けたり、療育士の方かたのアドバイスを受けながら取り組んでいる。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		発達支援の観点での分析や、保護者にもわかりやすいアセスメントツールを検討中。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		「家族支援」「地域支援」とは特記していない。今後の計画の中で必要と思われる項目は記載していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		定期的に活動内容と実践を検討しながら、目標と日頃の様子から内容の見直し等を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的に活動内容と実践を検討しながら、目標と日頃の様子から内容の見直し等を行っている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期的に利用者に合わせた活動内容と実践を検討しながら、目標と日頃の様子から内容の見直し等を行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○		集団で期待できる目標と個別でのほしい目標を記載し作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼時に打ち合わせを行い、支援開始前に追加事項を含め再度確認を行う。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に情報交換を行い、その日の振り返りや支援体制の改善につなげている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録は保護者に渡すものと共通。保護者向けの記録以外に、スタッフの気づきや課題を別紙に書いて引き継ぎを行う。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別でモニタリングを行い、支援計画の見直し等に役立っている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や、日常的に担当している者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		作業療法士や療育士と、月に1回の研修や療育があり、密に連携させていただいている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		弊社で行っていた内容等を伝え、共通して支援できるものなどを共有している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		担当者会議等も含めて、弊社で行っている内容等を伝え、共通して支援できるものなどを共有している。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		スキルアップ研修等に参加し、できるだけ最新の情報を入手している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		そのような活動には参加したことがないので、機会があれば積極的に交流したい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		定期的に開催されている連絡会等には参加させていただいている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ウェブ上でその日の記録を保護者がみることができるようにしている。また、書面で保護者にその日の様子を伝えて今後の支援の改善に役立っている。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		母子療育を行い、家でもできるような遊びや教材を提案したり、悩み等があれば相談にのっている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にできるだけ分かりやすく説明するようにしている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインの内容に沿って、弊社での活動方針を伝え、同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者から相談を受けた時は、専門家にも助言を頂きながら支援している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年に1～2回、保護者会を兼ねて、親子でのレクリエーションを開催し、保護者同士がつながる機会にしている。	
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情等の対応マニュアルを全スタッフで共通理解し、電話や対面で、できるだけ迅速な対応を心がけている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		請求書送付の際に、書面にて通信(前月の様子、お知らせ、予告等)として送付している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		氏名の記載のあるものはシュレッダーで破棄、電話番号等を個人の携帯に登録など禁止している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者を含め、保護者の方にもきちんと伝わっているか迷う時は、再度確認するなど確実な伝達を心がけている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		関係機関向けと地域住民の事業所説明会と内覧会を2回行い、周知を図った		
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		緊急時マニュアル等は準備しているが、児童発達支援活動中では緊急時の訓練等は行っていない。療育中の訓練の実施を検討する。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		まずは、スタッフの訓練を計画・実施したい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約の時点で、てんかんや薬のことは保護者から指示を得て、全スタッフと共有している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		症状の重い方は今のところおられないが、保護者からの指示を得て対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ケガにつながる可能性のある出来事などは、全スタッフで共有し、運営システムを使って記録している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県主催の研修等に積極的な参加や、職員の虐待防止に関する意識の向上につなげている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		重要事項説明書には記載している。対象児童がいないので、支援計画には記載していない。今後の様式等も含め検討していく。